

施設理念

「入居者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、
今までの暮らしが継続できるように支援すること」
そして「もうひとつのわが家」を目指す。

「愛(思いやり)」とは、

相手を思いあうことにより生まれるもの。つまり利用者と職員間であったり、また利用者同士の生活を送るにあたり、私たちは支援に必要な位置づけとしています。

山静寿
基本方針

『支え合い(協調)』とは、

人はひとりでは生きてはいけないものであり、相手を思いやりながら、生活を送るにあたり互いに支え合うことを支援していきます。これはご利用者同士、職員同士双方のことを意味します。

「願い(生きがい)」とは

最後の最後まで人生を全うするには「生きがい」というものは不可欠であり、私たちは希望や要望の願いを支援できる施設を目指します。

『共生(平等)』とは

これまで生きてきた人生や個性はありのまま
その人のものです。それは誰からも差別されるものではなく、私たちはその人、個人を受容し尊重しながら共に生活を送り、生きていくことを支援していきます。

ご利用のご案内

入所基準

おおむね65歳以上の方で、環境上、経済上の理由により、在宅生活の継続が困難な方が入所できます。(入院が必要な方は入所できません)
視覚障がい者、主に視覚障がい1級及び2級の方を受け入れる施設です。(障がいのない方も入所できます)

入所手続

お住まいの市町村福祉担当課へお申し込みとなります。
詳細は担当課または山静寿へお問い合わせ下さい。

費用負擔

利用料は前年度所得に応じて、市町村が決定し、徴収します。

ご案内図

Map of Yamagata City showing the location of Yamashizuka Senior Care Home (山静寿). The map includes labels for YTS, Denroku, JR Yamagata Station, Akaneke Hill, and various local businesses like Yamada Electric and Yokeru Bemaru. A north arrow is present at the top left.

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会 養護(盲)老人ホーム 山静寿

〒990-2474 山形県山形市大字沼木 1133 番地 1
Tel.023-645-8300 Fax.023-664-0145
E-mail : mouyogo@yamagata-saiseikai.org
URL : <http://yamagata-saiseikai.org>

養護(盲)老人ホーム

ok /

せ

七

山静寺



施設案内

明るく楽しく健やかに・・・豊かな環境の中で織りなす継続した暮らし。

- 入所者の皆様の意思を尊重し、また職員と入所者の深い信頼関係を築いた上で、入所までの生活環境や生活歴に十分配慮し、健やかで心豊かな生活を営んで頂けるよう支援いたします。
- 日常生活の支援や健康管理には、相談員や看護師、支援員など専門的な知識を持つスタッフがあたります。また特に視覚障がいの方々にも十分対応するため、スタッフは常に研鑽に努めて、皆様の自立した生活を支援いたします。
- 入所後であっても、それまでの社会的な活動（クラブ活動や外出など）を継続できるよう支援します。

- 特別養護老人ホーム山静寿に併設しており、一部施設を共用すると共に、各種行事などを一緒に楽しむ事もできます。また西隣には当会運営のはやぶさ保育園があり、世代を超えた交流活動を行い、お互いに豊かな情操を養う事ができます。
- 特別養護老人ホームに併設することで、災害等の非常事態に柔軟に対応し、安心安全な生活を継続する事ができます。
- 東に蔵王連峰、西に月山を望む、山形市西部の沼木地区に、養護（盲）老人ホーム山静寿は誕生しました。JR山形駅から車で10分、水田の向こうに山形市街地を一望でき、周辺環境に優れ、穏やかな生活を営むのに最適な場所にあります。

■ 建物や設備の特長（特に視覚障がい者への配慮）

・建物の構造

- 居室エリア、食堂、浴室エリア、スタッフエリアに分け、認識しやすい簡単な口の字型の建物

・居室

- 全室個室で、トイレ・洗面・収納家具を備えています。
使い慣れた家具などを持ち込まれ、自由にお使い頂いて結構です。

・食事

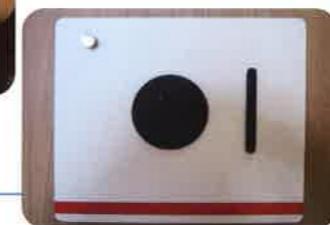
- 管理栄養士が栄養価や嗜好、体調などを考慮し、安全でおいしい食事をご提供します。

・手摺への工夫

- 手触りで方向が分かる工夫
- 部屋番号をボタン表示
- 曲がり角などをお知らせするバンドを設置

・優しい音でお知らせ（水琴窟）

- 水の音で廊下の交差点をお知らせ



・サインの工夫

- 文字やマークには凸凹を付け、また認識しやすい配色

・カラーコントラスト

- 建物内は、弱視の方でも認識しやすいコントラストを採用

・遊歩道の整備

- 積極的に外に出られるよう、手すりを配し安全を考慮した遊歩道を整備。香りの豊かな木々を楽しむ事ができます。

・視覚障がい者日常用具の設置

- 拡大読書機や活字読み上げ機などを準備

・体格に応じた家具

- 食堂のイスとテーブルは、適切な姿勢で食事ができるよう体格に応じて2種類準備



■ 建物平面図

2F [やまぶき]



1F [なのはな]



浴室

ゆったりと入れる大きなお風呂、一般家庭と同じようなお風呂、身体状況に応じた機械浴二種類を用意しています。

